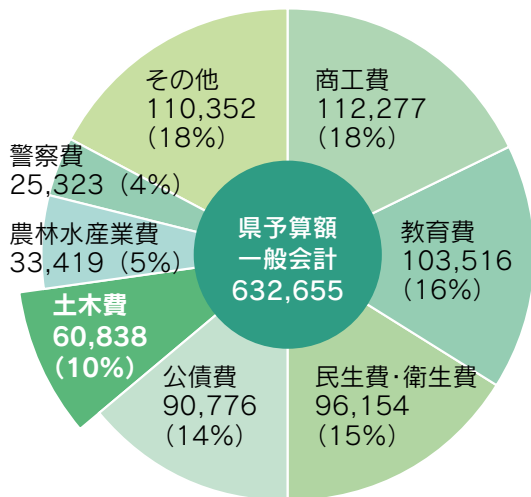


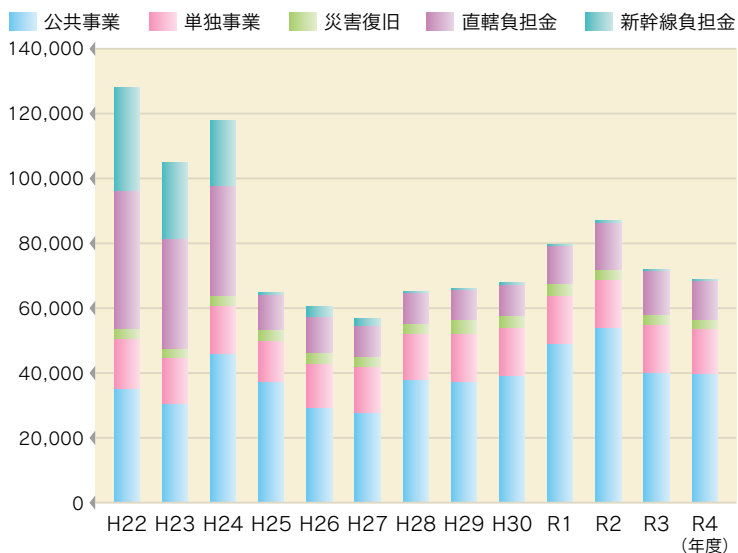
① 一目でわかる土木指標

土木部の予算や各事業をグラフや表でご覧ください。

◆令和5年度県予算（一般会計）（単位：百万円）



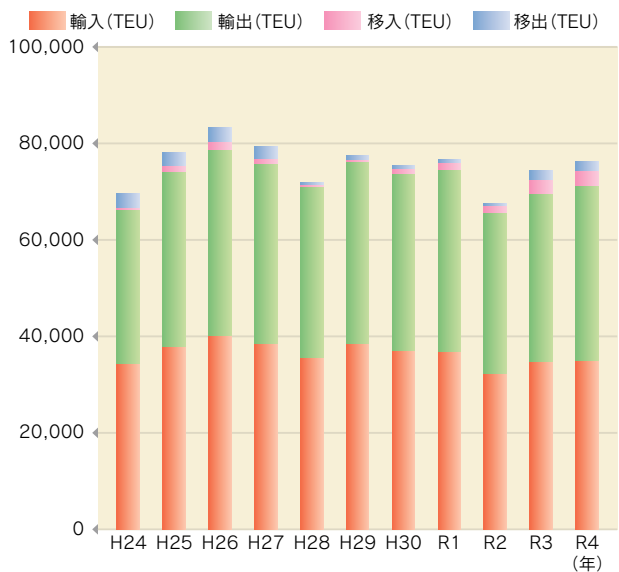
◆事業区分別予算推移（最終）（単位：百万円）



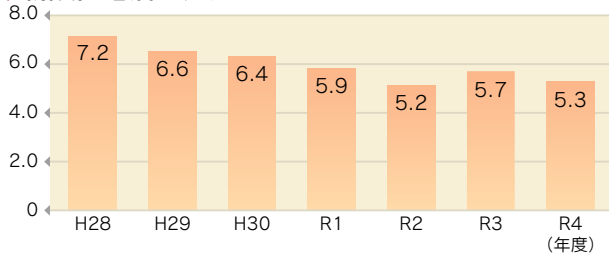
◆道路整備状況（R4.4.1現在）

	実延長(km)	改良率(%) (全国順位)	舗装率(%) 簡易舗装含む(全国順位)
国道(直轄)	230.6	100.0%(1)	100.0%(1)
国道(県管理)	290.6	92.8%(29)	95.9%(46)
県道	2,170.2	87.6%(12)	94.5%(42)
市町村道	11,220.3	78.0%(1)	90.9%(10)
合計	13,911.7	80.2%(1)	91.7%(14)

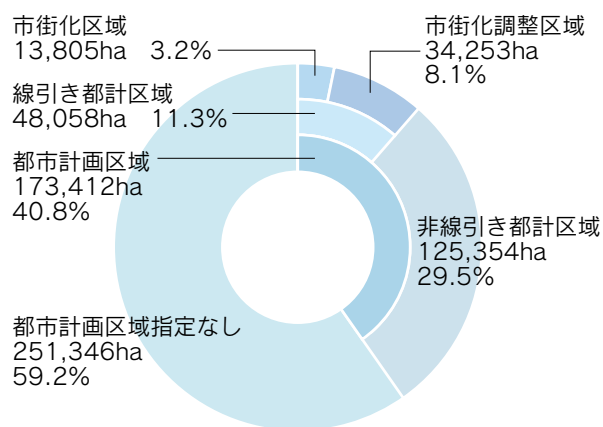
◆コンテナ取扱個数の推移（TEU）



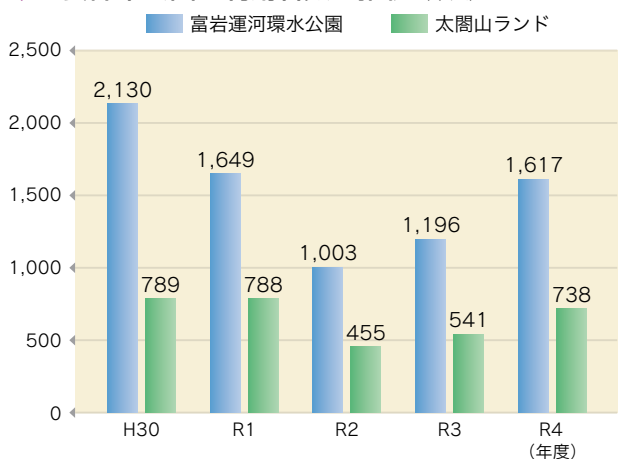
◆新設住宅着工戸数（千戸）



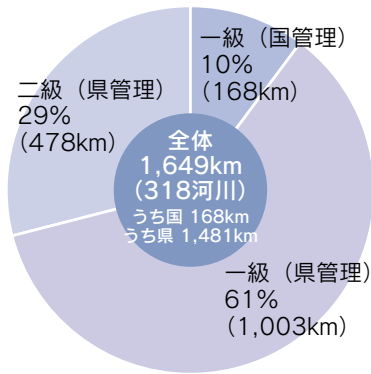
◆都市計画区域の指定状況（%）(R3.3.31)



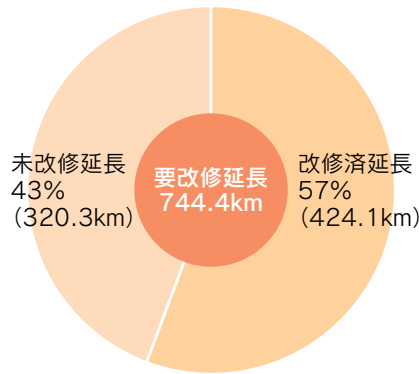
◆主要都市公園の利用者数の推移（千人）



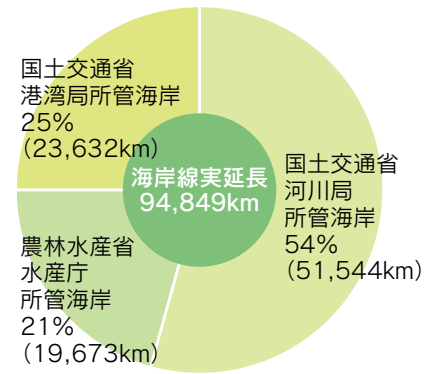
◆河川管理延長 (%) (R4.4.1)



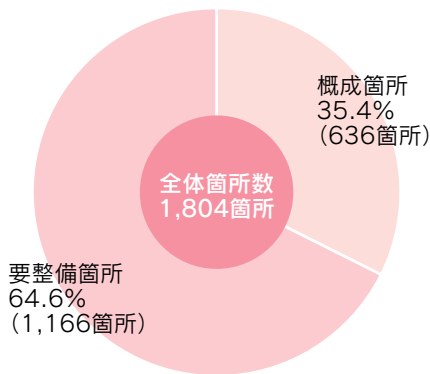
◆県管理河川改修状況 (%) (R4.3.31)



◆海岸線実延長 (%) (R4.3.31)



◆土砂災害危険箇所の整備状況 (%) (R5.3.31)

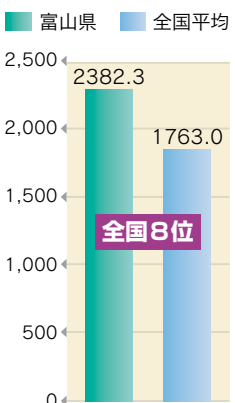


◆ダム一覧表 (R5.4.1時点)

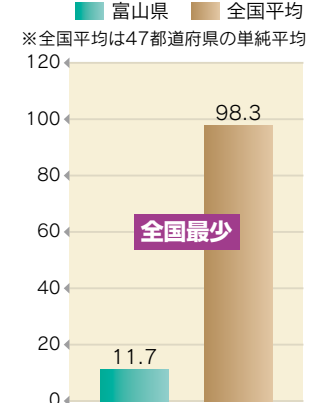
	ダム名	位置	目的	高さ (m)	総貯水容量 (千m³)	完成年度備考
富山県(土木部)	室牧ダム	富山市	F,N,P	80.5	17,000	S36
	上市川ダム	上市町	F,N,P	64.0	4,850	S39
	和田川ダム	砺波市	F,A,W,I,P	21.0	3,070	S42
	利賀川ダム	南砺市	F,P	37.0	2,700	S49
	白岩川ダム	立山町	F,N,W	50.0	2,200	S49
	子撫川ダム	小矢部市	F,N,W	45.0	6,600	S53
	角川ダム	魚津市	F,N	58.5	1,550	S53
	熊野川ダム	富山市	F,N,P	89.0	9,100	S59
	上市川第二ダム	上市町	F,N,P	67.0	7,800	S60
	朝日小川ダム	朝日町	F,N,P	84.0	5,280	H 2
	布施川ダム	黒部市	F,N,S	58.5	1,350	H 4
	城端ダム	南砺市	F,N,S	59.0	3,000	H 4
	境川ダム	南砺市 岐阜県白川村	F,A,W,I,PS	115.0	59,900	H 5
	大谷ダム(生活貯水池)	黒部市	F,N,S	29.5	325	H10
久婦須川ダム	富山市	F,N,P,S	95.0	10,000	H14	
舟川ダム(生活貯水池)	入善町	F,N,S	49.8	600	H24	
国交省	宇奈月ダム	黒部市	F,W,P	97.0	24,700	H13
	利賀ダム	南砺市	F,N,I	112.0	31,100	建設中

(注) 目的 F: 洪水調節、 N: 流水の正常な機能の維持、 A: 特定かんがい、 W: 水道用水、 I: 工業用水、 P: 発電、 S: 消流雪用水

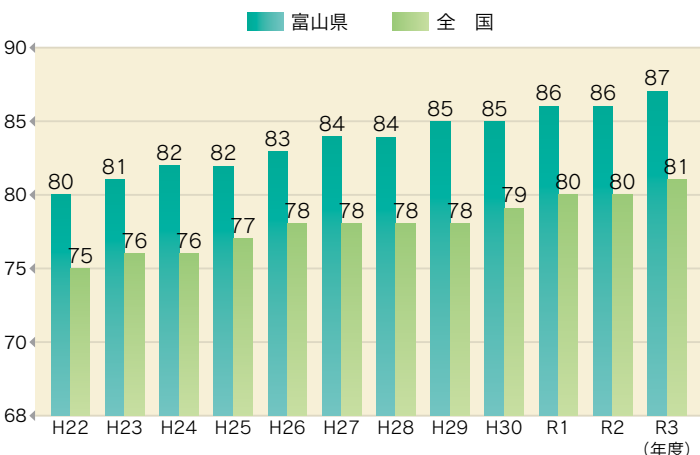
◆年間降水量 (mm) (2020年~2022年平均)



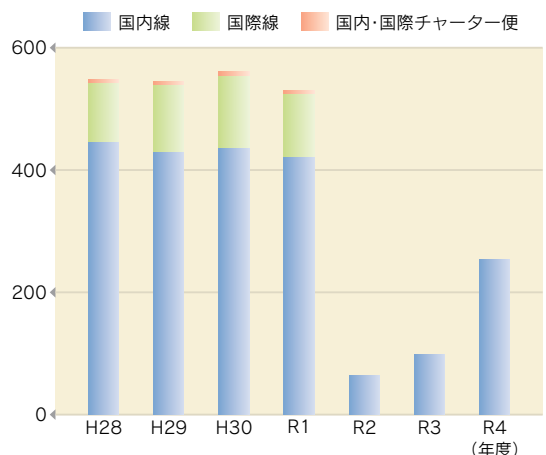
◆年間平均有感地震回数 (回) (2013年~2022年平均)



◆下水道処理人口普及率の変遷 (%)



◆富山空港利用者数推移 (千人)



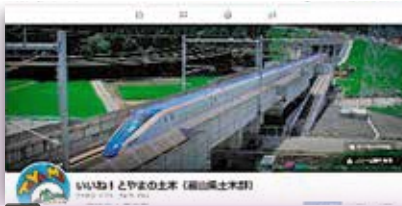
② とやまの土木情報局

① SNS・ウェブサイト

● 土木部Facebook・Instagram “いいね！とやまの土木”

SNSで土木部に関する事業内容やイベント等の情報を発信しています。

皆さまからのフォロー、いいね！
お待ちしております♪



パソコン・携帯から いいね とやまの土木

検索



Facebook

<https://www.facebook.com/toyama.doboku>



Instagram

<https://www.instagram.com/iinedoboku/>



● 富山県「総合土木職キャリア情報ナビ」

県職員（総合土木職）を目指す皆さんのキャリアイメージを支援するために作成したホームページで、本紙「とやまの土木」や仕事内容を紹介する土木部新聞、先輩職員の声等を掲載しています。



パソコン・携帯から 富山 土木 キャリア情報ナビ

検索

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1510/kj00022165.html



② 動画配信

● 公務員志望必見！「富山県の土木職員の仕事」

総合土木職を目指す皆さんのキャリアイメージにつながるように、若手職員3名に仕事の内容、魅力などについてインタビューしました。

▶ **現場編** 土木現場を舞台に仕事内容を紹介！

<https://www.youtube.com/watch?v=Ts0-38PPxPo&t=3s>



▶ **メッセージ編** 仕事を選んだきっかけや魅力などを熱弁！

<https://www.youtube.com/watch?v=ltNeNFk1Vws>



● 土木工事って面白い！「富山のどぼく発見!!ツアー」

常願寺川にかかる富立大橋の4車線化工事現場に潜入し、普段は入ることができない土木工事について紹介しています。

▶ https://www.youtube.com/watch?v=_k6L_TPUiAo



③ パンフレット

● 「みんなでTSUKURU」の発行

公共構造物ができあがるまでは、公務員や調査・測量業者、設計業者、施工業者など様々な人が関わっています。その仕事内容を分かりやすく紹介しています。



パソコン・携帯から 富山 TSUKURU

検索

ホームページからダウンロードできます

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1510/kj00021796.html



「みんなでTSUKURU」



前作「TSUKURU」

④暮らしの安全・安心ツール

大雨や大雪などによる災害に備えて頂くため、県民の皆さんにリアルタイムで防災情報を発信しています。ぜひご利用ください。


①雨量や河川の水位が確認できます。～河川情報システム～

河川情報システムは、県下全域に設置された雨量計や河川の水位計、河川監視カメラ等のデータを迅速に収集し、表示するとともに、市町村へ情報を提供することにより、速やかな水防活動や適切な河川管理に役立てるものです。

雨量や河川水位、河川監視カメラの画像は、住民の自主的な避難行動を支援するため、インターネットにより、県民の皆さんに提供しています。県のホームページ（富山県河川・海岸カメラ、富山防災WEB）、国土交通省のホームページ（川の防災情報、川の水位情報、防災ネット富山）及び県内全ケーブルテレビの防災番組等においても確認することができます。



ウェブサイト
「富山県河川・海岸カメラ」

パソコンから 

<http://kawa.pref.toyama.jp/camera/>

②土砂災害発生の危険度が確認できます。～土砂災害警戒情報支援システム～

県と富山地方気象台は、土砂災害による被害の防止・軽減のため、土砂災害が発生するおそれが高まったときに市町村長が発令する避難指示等の判断や県民の皆さんの自主避難の参考となるよう、「土砂災害警戒情報」を共同発表しています。

インターネットにて、「土砂災害警戒情報」の発表状況や土砂災害の危険性が高まった区域などの詳細情報を確認できます。


また、土砂災害警戒情報や大雨注意報等の情報をメールでお知らせするサービスも行っています。



富山県土砂災害警戒情報支援システムの画面

パソコンから

スマートフォンから <https://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/sp/>

携帯電話から <http://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/m/> 

③道路情報が確認できます。～除雪情報システム～


ドライバーの安全運転の支援を目的として、道路監視カメラの画像や降積雪量、路面温度などの情報をインターネットで提供しています。（降積雪量や路面温度情報は冬期間のみ提供）



また、AIを活用した車両滞留状況の提供やSNSを利用した道路情報の発信にも取り組んでいます。



道路情報のホームページ

パソコンから

<https://www.toyama-douro.toyama.toyama.jp/> 

アプリ「雪みち富山」  

iPhone Android

④ハザードマップが確認できます。

県民の皆さんの的確な防災行動をとれるよう、市町村に対して、ハザードマップの作成支援を行っています。

ハザードマップは、市町村から配布されており、ホームページ等でも確認することもできます。



洪水ハザードマップ(高岡市)



各ハザードマップの範囲イメージ

市町村のハザードマップ作成状況 ○：作成済

※想定し得る最大規模の降雨によるシミュレーション結果に基づくもの

ハザードマップ	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市	射水市	上市町	立山町	入善町	朝日町	舟橋村
洪水*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内水	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
土砂災害	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
津波	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

③ とやまの土木小史

神通川と常願寺川を中心に富山の土木小史を紹介します。

明治の治水

じんずうがわはせこし

● 神通川馳越線工事と立山砂防工事

今から140年前、明治16年（1883年）5月9日、治水問題をきっかけに石川県から分離独立して富山県が誕生しました。県では直ちに土木課を設け、治水、砂防事業にとりかかりました。

明治年度の県の一般会計決算額に占める土木費の割合は平均で45%（その大半が治水堤防費）、洪水の頻発した明治24年（1891年）にはなんと87%にもなりました。

このように近代富山の土木史は「明治の治水」に始まりました。

この「明治の治水」を代表するものが神通川の馳越線工事（明治34年（1901年）～36年（1903年））と常願寺川上流の立山砂防（明治39年（1906年）～今日）です。

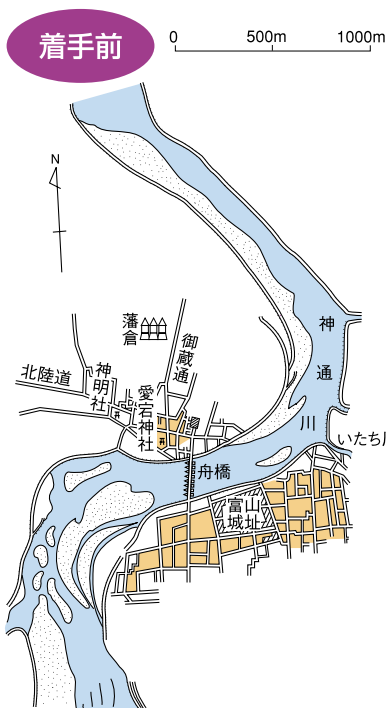
年（年号）	社会経済	とやまの土木史、主な災害
1858（安政5）	安政の大地震	大鷲山、小鷲山崩壊、死者行方不明140人
1883（M16）	置県	土木課設置 庄川改修工事着手 富山県下河川調査（オランダ人技師ルーエンホルスト・ムルデルによる調査）
1891（M24）		常願寺川改修工事着手（白岩川分離）（オランダ人技師ヨハネス・デ・レーケによる計画）
1896（M29）	（旧）河川法	県治水同盟会設立
1897（M30）	砂防法	
1899（M32）		伏木港開港場指定
1900（M33）		庄川第二次改修工事着手（小矢部川分離）
1901（M34）	20世紀	神通川馳越線工事着手
1906（M39）		県営立山砂防事業着手
1908（M41）		北陸線富山駅開業（現位置）

じんずうがわはせこし

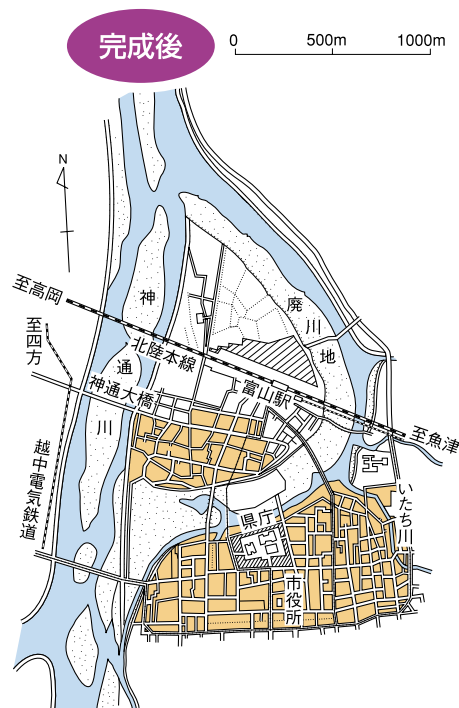
神通川馳越線工事

富山の中心部を流れる神通川は、当時、富山城の北側で大きく蛇行していたため、大雨のたびに市街地で溢れていました。県では、明治29年（1896年）の大水害をきっかけに神通川の本格的な改修に着手し、明治34年（1901年）からの第二期工事では、馳越線工事を行い直線の捷水路を建設しました。

<p>はせこし (注1) 馳越線工事</p>	<p>河川のU字型にカーブした部分に新しいまっすぐな水路をつくり、洪水のときに古い川の堤防を馳せ越して（乗り越えて）いく水の勢いで土砂を押し流し、水路の幅を広げていくという手法で進められた河川工事。神通川では、水かささが270cm以上になると古い川の堤防を馳せ越して、新しい水路に水が入り、工事直後には2mだった水路の幅が今の川幅になりました。</p>
<p>しょうすい (注2) 捷水路</p>	<p>蛇行する河川の屈曲部を直線的に連絡するために開削した人工水路。洪水防止や土地利用を目的として行われる。</p>



明治初年の神通川と橋北
出典：『神通川とその流域史』



昭和初年の神通川と橋北
出典：『神通川とその流域史』

立山砂防工事

安政の飛越地震（1858年）により鷲山が崩れ、立山カルデラにたまった膨大な土砂が一気に富山平野に流れ出るのを防ぐために、明治39年（1906年）に県営の砂防事業に着手しました。しかし、余りにも大変な工事であったために、国に砂防法の改正を働きかけ、大正15年（1926年）からは、旧内務省の直轄事業として移管され、現在もカルデラ内に残るといわれる2億m³の土砂を安定させるために、営々と砂防事業が進められています。

てんがいまもる

「護天涯の碑」は、立山カルデラ内部の泥谷第1号堰堤に埋め込まれています。この碑は、大正4年（1915年）頃、当時の富山県知事・浜田恒之助氏により、揮毫されたものと言われています。【護天涯】という言葉には、人里から遠く離れた立山カルデラの地において砂防事業をおこない、土砂流出による被害から下流に広がる富山平野の県民の命と財産を護るという気概が示されています。



「護天涯の碑」を視察する新田知事（立山カルデラ・泥谷第1号堰堤）

大正の発電

● 県営水力発電

豊かな恵みを供給する一方でひとたび洪水になると暴れだす川の水を、一方でなだめつつ、他方で生活や産業に利用すべく、富山県の先人は知恵を絞りました。

その典型が、大正9年（1920年）に始めた県営発電事業です。北陸地方の水力発電の嚆矢は、明治32年（1899年）に富山電灯(株)が運転を始めた大久保発電所ですが、この水力発電を県の事業として行ったもので、これにより、安くて豊富な電力を供給し、産業を興し、県の苦しい財政を賄ったのです。「禍を転じて福と為す」とはまさにこのことです。

かくして、とやまの土木史の第二章は「大正の発電」と称されます。

昭和の都市計画

● 運河・都心区画整理・街路事業

明治期の神通川馳越線工事により開削した捷水路は、大正10年（1921年）には本流となり、その結果、かつての神通川はわずかに松川を残すのみで広大な廃川地となって富山駅前と旧来の市街地とを分断する形に残り、都市の発展に大きな障害となっていました。

昭和3年（1928年）に、この障害を取り除き、近代都市富山にふさわしいまちをつくらうと、県は三つの都市計画事業を決定しました。それは、第一に、富山駅北から東岩瀬港（現在の富山港）まで5kmの運河を掘り、第二に、その掘った土砂で神通川の跡地117haを埋め立てて区画整理し、第三に、関連する7本の街路を建設するという、まことに壮大なものでした。

県が行った都心区画整理事業（全国初の公共団体施行区画整理）により、昔、神通川だったところに新しくまちが生まれ、今日では、県庁や富山市役所などが建ち並び、富山の都心となっています。

この港とまちと道を都市計画事業により建設し、富山のまちの骨格が出来上がったことから、とやまの土木史の第三章を「昭和の都市計画」と呼んでいます。

そして、この昭和初期の「都市計画＝みなと・まち・みち」は、その後も戦災復興土地区画整理事業や、富山新港の建設、富山駅北のとやま都市MIRAI事業などに引き継がれています。

ハジメニ治水アリキ

● とやまの土木の原点

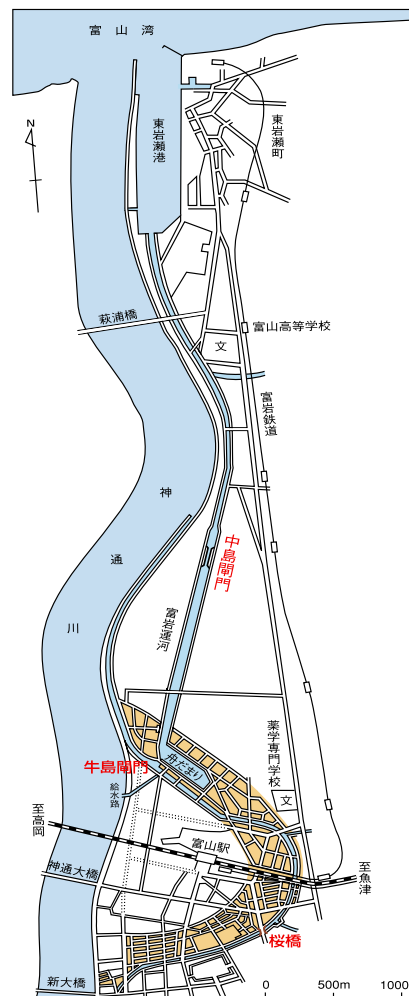
このように富山県では、県の誕生以来、水と闘い・水を治めつつ、電気を起こし・産業を興し、橋を架け・道をつけ、港を築き・まちを拓き、県土を整えてきました。

「ハジメニ治水アリキ」とは、歴史的時間の「ハジメ」であり、かつ、今という時代にあっても「まず、はじめに」治水なのです。とやまの土木は、「ハジメニ治水アリキ、而シテ常ニ治水アルベシ」を基礎としながら、さらに安全・便利・快適なものとなるよう、努力し続けていきます。

都心の土地区画整理と富岩運河

出典：『都市公論：昭和11年5月1日第19巻第5号 運河・街路及び土地区画整理事業の実施について』

	年（年号）	社会経済	とやまの土木史、主な災害
大正	1920 (T9)		県営水力発電着手
	1924 (T13)	砂防法改正	
	1926 (T15)		立山砂防事業直轄移管
昭和	1928 (S3)		富山都心区画整理着手
	1933 (S8)		富山飛行場開場（倉垣）
	1935 (S10)		県庁舎、櫻橋完成
	1936 (S11)	日満産業大博覧会	電気ビル、富山大橋完成
	1936 (S11)		本宮砂防堰堤完成
	1939 (S14)		白岩堰堤完成、東岩瀬港開港場指定
	1945 (S20)	戦災／終戦	
	1946 (S21)		戦災復興事業着手
	1954 (S29)	富山産業大博覧会	富山市公会堂完成
	1958 (S33)	富山国体・地すべり等防止法	
	1961 (S36)		室牧ダム完成
	1963 (S38)		富山空港開港
	1964 (S39)		氷見市胡桃地すべり災害、人家被災87戸
	1965 (S40)	(新) 河川法施行	
	1968 (S43)	都市計画法	富山新港開港
	1969 (S44)	急傾斜地法	集中豪雨災害、死傷者29人、人家被災149戸
	1975 (S50)		北陸道富山IC開業（昭和63年県内全線開通）
1983 (S58)	富山百年／つばね新世紀博覧会	県民公園大岡山ランド開園	
1984 (S59)		富山空港ジェット化	
1985 (S60)		とやま21世紀水公園プラン	
1986 (S61)		とやま都市MIRAI計画	
平成	1995 (H7)	兵庫県南部地震	
	1997 (H9)	河川法改正	水と緑のネットワーク構想
	1998 (H10)		中島開門 重要文化財に、立山カルデラ砂防博物館開館
	1999 (H11)		白岩堰堤、本宮砂防堰堤、桜橋 登録有形文化財に
	2000 (H12)	2000年とやま国体 土砂災害防止法	笹津橋 登録有形文化財に
	2002 (H14)		牛島開門、泥谷砂防堰堤、小牧ダム 登録有形文化財に
	2003 (H15)		富山県景観条例施行
	2004 (H16)	景観法	
	2008 (H20)		東海北陸自動車道の全線開通
	2009 (H21)		白岩堰堤砂防施設 重要文化財に
	2011 (H23)	東北地方太平洋沖地震	富岩運河環水公園全面開園
2015 (H27)		北陸新幹線開業、能越自動車道 県内全区間供用開始	
2017 (H29)		常願寺川砂防施設(白岩堰堤に本宮堰堤、泥谷堰堤を追加) 重要文化財に	



④ とやまの土木遺産

とやまの歴史とともにできた土木文化財を紹介します。

① 白岩堰堤

国指定重要文化財
平成21年6月30日指定
管理：国土交通省

立山カルデラ内の土砂を安定させるため、カルデラの出口に設けられたもので、昭和14年（1939年）に完成しました。この堰堤は、堤高が63mと砂防堰堤では日本一の高さを誇っています。後に「砂防の父」と呼ばれた赤木正雄博士の計画によるものです。砂防施設としては全国初の重要文化財に指定されました。



② 本宮堰堤

国指定重要文化財
平成29年11月28日指定
管理：国土交通省

常願寺川河口より26.8km地点に位置し、昭和11年（1936年）に完成しました。この堰堤の貯砂量は500万立方メートルと我が国最大級です。堰堤の表面は間知石貼で造られており、周辺環境に調和した砂防堰堤となっています。



③ 泥谷堰堤

国指定重要文化財
平成29年11月28日指定
管理：国土交通省

常願寺川支溪のうち、荒廃の著しい泥谷の侵食防止のために旧内務省直轄で築かれた階段式砂防堰堤で、昭和13年（1938年）に完成しました。標高差122m、延長467mの急傾斜面に、台形の越流部を有する重力式石張りコンクリート造堰堤20基、床固3基が連続的に築かれています。この堰堤は、白岩、本宮砂防堰堤とともに富山県の砂防事業の基幹をなすものです。

(写真提供：国土交通省立山砂防事務所)

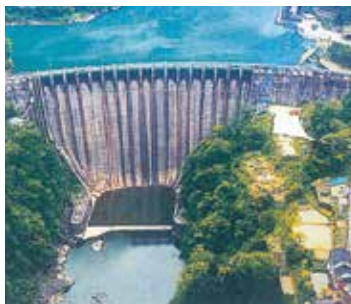


④ 小牧ダム

国登録有形文化財
平成14年6月25日登録
管理：関西電力㈱

庄川に築かれた堤長301m、堤高79mの発電用ダムで、昭和5年（1930年）に完成しました。

アーチ曲面が美しい本格的な重力式コンクリート造ダムで、地震力を考慮した設計により飛躍的に大型化した構造物で、建築当時「東洋一のダム」と呼ばれました。中央部にゲート付越流部、右岸側に鮎の遡上のためのエレベーター式魚道、左岸に木材の流送のための運材設備を設けてあります。



⑤ 富岩運河中島閘門

国指定重要文化財
平成10年5月1日登録
管理：富山県

昭和3年（1928年）からの富山都市計画事業により造られた富岩運河のほぼ中間に位置し、昭和9年（1934年）に完成しました。閘門は、上流と下流の水位を門扉の開閉により調整し、船の運航を助ける施設です。閘室は、昭和初期の土木技術を用いた石組み・鉄筋コンクリート造りで、扉体は今では珍しいリベット（鉚）接合で造られています。昭和の土木構造物としては全国初の重要文化財に指定されました。



⑥ 富岩運河牛島閘門

国登録有形文化財
平成14年6月25日登録
管理：富山県

富岩運河といたち川の水位調節を行い、川船を運航させるために、昭和9年（1934年）に設けられた閘門です。閘室の主要部分は鉄筋コンクリート造りで、木製合掌門扉を支える部分は、石組み構造となっています。中島閘門とともに富山の近代化を支えた富岩運河の代表的な土木構造物の一つです。



⑦ 桜橋

国登録有形文化財
平成11年11月18日登録
管理：富山県

富山市の中心部を流れる松川に架かる橋で、富岩運河と同じく県の都市計画事業により建設され、昭和10年（1935年）に完成しました。この桜橋は、シルエットの美しいリベット打ちの鋼製アーチ橋で、都心部の歴史的景観を示すものとして、桜の季節には遊覧船が橋下を通過するなど、観光資源にもなっています。

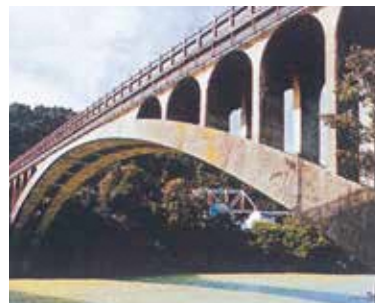


⑧ 笹津橋

国登録有形文化財
平成12年2月15日登録
管理：国土交通省

国道41号線が旧大沢野町と旧細入村の境で神通川を渡る箇所に架かる橋で、昭和16年（1941年）に完成しました。

現存する戦前の橋としては全国2番目の大スパンアーチ橋です。神通峡の美しい周辺環境と調和し、躍動感あるデザインが特徴です。



このほかに「とやまの近代歴史遺産」（富山県教育委員会、平成22年3月）に選定された土木施設もあります。詳細はウェブサイト「富山県デジタル文化財ミュージアム」をご覧ください。
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/sections/3009/3007/digital/index2.html>

富山県デジタル文化財ミュージアム 検索

⑤ 土木部の組織と業務

土木部には、本庁組織として、9課が設置されています。

また、土木センター4（支所として土木事務所4）、ダム管理事務所7、港管理事務所3など、合わせて18の出先機関と立山カルデラ砂防博物館があります。

管 理 課	<ul style="list-style-type: none"> ● 土木部内の人事、予算、経理、企画調整（事務）に関すること ● 建設工事等の入札及び契約業務に関すること ● 用地の取得、土地収用に関すること
建設技術企画課	<ul style="list-style-type: none"> ● 土木部内の企画調整（技術）に関すること ● 建設業の指導監督及び振興に関すること ● 土木工事の技術指導・積算基準に関すること
道 路 課	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路の維持管理や除雪に関すること ● 道路や橋りょうの新築及び改築に関すること ● 各種道路計画、道路に関する許認可に関すること
河 川 課	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川及び海岸の調査計画、管理、改良、災害復旧に関すること ● 水防に関すること
開 発 班	<ul style="list-style-type: none"> ● ダムの計画調査や建設・管理に関すること
砂 防 課	<ul style="list-style-type: none"> ● 砂防、地すべり、急傾斜地、集落雪崩の調査、計画、対策に関すること
港 湾 課	<ul style="list-style-type: none"> ● 港湾の整備及び管理に関すること ● 港湾区域の海岸の整備及び管理に関すること
都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画行政に関すること ● 都市計画道路など都市施設の整備に関すること ● 土地区画整理事業に関すること ● 都市公園の整備及び管理に関すること
下 水 道 班	<ul style="list-style-type: none"> ● 流域下水道の整備及び管理に関すること ● 公共下水道の事業計画及び認可に関すること
新幹線・駅 周辺整備班	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山県内の北陸新幹線の連絡調整に関すること ● 富山駅付近連続立体交差事業及び駅周辺整備に関すること
建 築 住 宅 課	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築基準法等の建築の基準に関すること ● 県営住宅等の建設及び管理に関すること ● 景観づくり、屋外広告物に関すること
住みよいま ちづくり班	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発行為の許可等に関すること ● 市街地再開発に関すること ● 建築許可に関すること
営 繕 課	<ul style="list-style-type: none"> ● 県有施設の建築・設備工事の設計及び工事監理に関すること

① 新 川 土 木 セ ン タ ー

② 新川土木センター入善土木事務所

③ 富 山 土 木 セ ン タ ー

④ 富山土木センター立山土木事務所

⑤ 高 岡 土 木 セ ン タ ー

⑥ 高岡土木センター氷見土木事務所

⑦ 高岡土木センター小矢部土木事務所

⑧ 砺 波 土 木 セ ン タ ー

⑨ 室 牧 ダ ム 管 理 事 務 所

⑩ 上 市 川 ダ ム 管 理 事 務 所

⑪ 和 田 川 ダ ム 管 理 事 務 所

⑫ 利 賀 川 ダ ム 管 理 事 務 所

⑬ 白 岩 川 ダ ム 管 理 事 務 所

⑭ 子 撫 川 統 合 ダ ム 管 理 事 務 所

⑮ 境 川 ダ ム 管 理 事 務 所

⑯ 立 山 カ ル デ ラ 砂 防 博 物 館

⑰ 富 山 新 港 管 理 局

⑱ 伏 木 港 事 務 所

⑲ 富 山 港 事 務 所

